

9月4日(木)

おばけの絵

つき組のおばけやしきに貼ってある
数々の妖怪の絵。
リアルで繊細なタッチにこどもたちも
“こわい… でも気になる…” そんな様子。

実は『富嶽三十六景』(右の写真→)を
描いたことで有名な ^{かつしか ほくさい} 葛飾 北斎 の絵なのです。

画集をこどもたちにも ご紹介！

“かつしかほくさい”
って、だあれ？

つきぐみのおばけを
かいたひとなの？



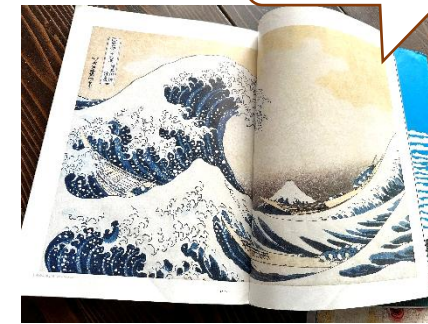
この おかお、
こわいね～～！



シュツシュ～～！



これ！ろくろつくり が
いちばんすき！



おおきいなみの
えだね～～



ぼくのおうちにも
おかね、あるよ！

新千円札の裏面にも北斎の絵が。
「すご～い！！いっしょだ！」と
おれを手に取り目を輝かせる こどもたち。

キャッシュレスが主流になりつつありますが、
本物のお金に触れ、様々な発見を見つける嬉しさ
を感じる経験を大切にしていきたいですね。

画集を開き、夢中になって見つめるこどもたち。
「これはなに！？」「すてきだね～」
「きっと、おにをかくのがだいすきなんだね！」
芸術に触れることは、こどもの豊かな感性を
更に育てていくきっかけになるのだと 感じています。